

豊橋ライターズとは

豊橋というまちについて関心を寄せる市民が、それぞれの気づきを表現したり、表現の技術を学びあつたりする大人の部活動として、2018年から活動をスタート。全員に共通しているのは「豊橋が気になっちゃう」という郷土愛と好奇心。

定期的に勉強会を開いたり、取材活動、まちに関する情報発信を行つたりしています。まずは、部員同士の情報交換で公開中!

詳しくはコチラ

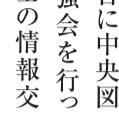


豊橋ライターズの日常

基本的には、毎月第2土曜日に中央図書館の会議室に集まり勉強会を行っています。まずは、部員同士の情報交換

勉強会などの様子は、毎月レポート形式にて豊橋市ホームページで公開中!

詳しくはコチラ



換からスタート。それぞれの部員たちが気になる豊橋のモノ・コトなどを情報を共有してお互いの知識を深めます。勉強会のメインは、取材活動についての話し合い。みんなで行きたい取材先・テーマなどをゆるく楽しく話し合います。



豊橋が発祥といわれる「ええじゃないか」の謎に迫るため、誰が最初に牟呂村でお札を降らせたのか……。実は、お祭りでドンチanchesをしたいたる者だった?

そんな知れば知るほど誰かに話したくなる歴史の裏側を「ええじゃないか」を愛してやまない、二川宿本陣資料館学芸員和田さんに伺いました。

いよいよライターズがまちに飛び出しました! 平成最後の春、ええじゃないか現象と共に飛び出します!



豊橋が発祥といわれる「ええじゃないか」の謎に迫るため、誰が最初に牟呂村でお札を降らせたのか……。実は、お祭りでドンチanchesをしたいたる者だった?

そこが最初に牟呂村でお札を降らせたのか……。西は広島まで伝わってきました。

その始まりこそが、ここ豊橋だったのです!

「ええじゃないか」は、お札が降るつてどういうこと? と疑問に思いますよね。

後学者が全国的に起きた一連の騒動に対する名前です。

まずお札が降つてそれを祀り、祝宴し、男装や女装が行われ、ええじゃないか等の囁き言葉を

言いながら踊り歩くというもの。

お札が降るつてどういうこと? と疑問に思いますよね。

実際には竹垣に挟まっていたお札を見て

金貨やら仏像やら様々なものが降ったとか。

明治元年のつ前年のある慶応3年

7月14日(旧暦)、当時の牟呂村にて

神社のお札が降ったのが始まりでした。

「ええじゃないか」は、お札が降るつてどういうこと? と疑問に思いますよね。

後学者が全国的に起きた

一連の騒動に対する名前です。

まずお札が降つてそれを祀り、祝宴し、男装や女装が行われ、ええじゃないか等の囁き言葉を

言いながら踊り歩くというもの。

お札が降るつてどういうこと? と疑問に思いますよね。

後学者が全国的に